
明日（あした）が見えるかい

- - 元気だせよ！ 入試、就職、恋に悩む若者たちへ - -

作詞 / 山田博士 作曲・歌 / 宇都宮翔

- 一 道にしゃがんだ 若者たちよ
そこから明日（あした）が 見えるかい
乾いた土を みつめても
乾いた心は 変わらない
夢を持てとも 言わない
希望持てとも 言わない
せめて遠い 世界を
つま先立てて 見るがいい

- 二 いつも都会は 化粧のにおい
偽（いつわ）りだらけの 色ばかり
素顔はずし 暮らすうち
素顔をどこかへ なくしてる
愛を掴（つか）めと 言わない
恋に浸れと 言わない
だけどいつか 本気で
他人を思って みるがいい

- 三 空を一人で 旅する雲よ
そこから明日が 見えるかい
地球の顔は 優しくて
地球はいつでも 丸いだろう
人のいのちも 同じさ
とても丸く 大きい
時の流れを 信じて
お前の若さで 漕（こ）ぐがいい

繰り返し

山田より：毎年4月は、旅立ちの時。右を向いても左をみても真っ暗闇の日本の社会なんです、ピカピカの新人たちを見受けるのは楽しいもの。君たちの若く明るい澄んだ瞳でこれからの日本を背負ってほしい。最初につまずいてもどうということはないんです。人生は長い！ちょっとばかり、つま先を立てれば、ほら明日が見えるよ。